

も り

森林とのふれあい!

全国植樹運動発祥の地を拓く道普請



緑化行事の始まりに耳を傾け 80 年前の森の様子を想う。

11月15日（土）筑波山麓周辺
市で活動する森づくりの団体の会
員など43名が、本年3月に林業
遺産に登録された全国緑化行事
発祥の地である桜川市真壁町の
国有林で歩道整備の活動を行
いました。
この活動は、我が国で最初の緑
化行事が行われて80周年になる
ことを記念し、つくばみらい市の
NPO法人・地球の緑を育てる会や
毎日新聞社などが道普請プロジ
ェクトとして主催し、当日は3回
目の合同作業となりました。



力を合わせて、窪みや沢に倒木の橋を架けます。



倒木を除け、急傾斜地には階段を切っていきます。

作業には、福島県川内村や静岡県掛
川市、東京都江東区などの住民も参加
し、最初に全員で「エイ、エイ、オー」
のかけ声で気合いを入れ、作業地に移
動し、歩道にかかる倒木を撤去した
り、倒木を使って急傾斜地に階段を設
けたり、土留めを設けたり、沢に丸木
橋を架けたりする作業に汗を流しま
した。
今回の作業で、発祥の地の石碑への
行き来で通行の難しい場所の解消が
図られました。
参加者の皆さんは、我が国の緑化の
原点での活動に、森づくりに対する思
いを新たにしました。

@安へる



記念碑に森への思いを記した書を掲げました。

